

# NONCRA®EXスーパー強化目地処理工法 PAT

内部異種間塗装・クロス・珪藻土仕上

ベニヤ・木部・コンクリート・モルタル・ALC+PB

平成25年6月1日

技術相談窓口 株式会社ライトビームシステム技術センター

TEL03-5346-2120 Fax03-5346-2127 携帯TEL 090-4518-1395

## ☛LGS・木下地軸組：NONCRA®JOINT工法

### STEP 1. テープ接着面・NONCRA®パテ平滑仕上 ~ ”一液変性エポキシ樹脂シーラー”塗

ALC面：テープ接着面強化“表面気泡平滑研磨除去～セメント接着増強剤塗布～**ノンクラポリマーセメント**薄塗左官仕上

1回目：ALC平滑研磨：電動平カンナ1900BA SP1 (マキタ製) 切削幅82mm 超硬替刃セット：A-01775、

2回目：セメント接着増強剤：NSハイフレックスHF1000、5倍液(日本化成製)2回塗

3回目：ノンクラポリマーセメント塗：粉体(NSポリマーミックス#15) 5kg+ノンクラポリマー混和液1kg+NSハイフレックス5倍液

乾燥時間：1日以上

異種間継目不陸調整：**NONCRA®厚付・仕上用パテ平滑仕上**塗 塗幅：90～120mm 乾燥時間：3時間以上確保

特長：粒子が微細・付着強さ2～3倍以上・ヤセ極小・不陸調整ピンク識別・易しい。

☛注意・ノンペーパー：ペーパー掛けすると、テープの付着力を低減するので禁止!

### STEP 2. テープ貼着

準備：テープ貼着部通り出し“墨出し” ”墨壺ポケチョーク”白チョーク粉使用

・墨出して貼着すると、テープの蛇行を防止でき、ステンレス鋼帯の“たるみ・歪”を排除し易い!

1回目：テープ接着 “NONCRA®テーププライマー”塗布 塗幅：60～70mm

～ テープ“NONCRA®EXスーパー”貼着 ☛“ステンレス鋼帯入りテープの上手な貼り方”参照

仮貼～離けい紙剥離後～フィルム押え用ヘラでテープ両耳しごき押圧2回しごき貼着

～ テープステンレス鋼帯両耳全て：**ステンレスエアタッカ留付固定 タッカ間隔5cm以内**

**利点：テープ接着面のボード表面紙が剥がれても、破損するまでテープが下地に接着追従!**

☛注意・テープ接着面の湿り気・凸凹粗面・粉吹きは、テープが付着しないで剥がれる!

・テープ接着面の表面強度が弱いと、挙動時テープがパテを引き起こし剥がれる!

・プライマー塗りの手抜きは、後日テープがはがれたり、耳にひび割れが入る恐れあり!

### STEP 3. テープ接着

テープ上“NONCRA®弾性エポキシ”しごき取り乾燥後～“NONCRA®エポコート”塗布

1回目：“NONCRA®弾性エポキシ”塗 ヘラしごき取り 塗幅：60mm 乾燥硬化：夏4時間、冬1日以上確保

2液反応速硬化、弾性引張伸び率110%、はじき皆無

☛警告・エポキシ樹脂の硬化前に次工程に移るな! 乾燥跡パテ・塗膜仕上にカメノコ状亀裂が入ってしまう!

2回目：“NONCRA®エポコート”塗 短毛2インチローラー塗 塗幅：100～120mm 乾燥：3時間以上確保

2液型専用塗料：テープの吸込みムラ防止とテープ接着力強化並びにテープ網目のFRP化

☛注意：塗料のミミ出し禁止!

・仕上塗膜にテープのステンレス色がすすけて見える場合“NONCRA®エポコート”2回塗

### STEP 4. NONCRA®C仕上パテ塗

塗幅：150～180mm

乾燥時間3時間以上確保

パテ仕上形状 塗付標準厚：0.15～0.2mm↘0

☛注意・テープが見える程度の薄付けしごき。厚塗りすると、挙動時テープのパテにヒビが出る!

### STEP 5. サンディング：塗り継ぎ部当てペーパー掛け程度 適時#240～320ペーパー選定使用

☛注意・クロス貼の場合、糊付きの良いクロス用パテ使用!

～ 仕上塗装・クロス貼 ～ 完了

### アドバイス

・テープの完全接着と仕上パテのカメノコ割れ防止のため、弾性エポキシの乾燥時間厳守と完全硬化確認がポイントです。

・パテは塗厚分割れる。パテの薄付けしごき仕上げに努めましょう。

・溶剤系塗料の場合、テープの粘着剤が犯される。テープ上のエポキシ塗布の手抜きは絶対禁止。